



中油屋開門式(3月1日号)



市指定有形文化財旧松崎旅籠油屋のうち、座敷にあたる「中油屋」の復原修理が終わり一般公開を開始しました。



東山彰良さん直木賞受賞 (8月1日号) & 講演会開催(11月1日号)



小郡市在住の作家東山彰良さんの著作『流』(講談社)が第153回直木賞に選ばれました。これを記念して10月17日に文化会館で講演会を開催しました。

市役所本館耐震補強工事のため一部窓口が移転しました (5月1日号)



市役所本館窓口が、西・北別館と元九州情報大学跡地へ仮移転しました。1月4からは本館で窓口業務を再開します。皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。



松岡家住宅が 国の登録有形文化財へ (4月1日号、10月15日号)



干潟の松岡家住宅(現：料亭「とびうめ」)主屋ほか4棟(倉庫、玄関門、門柱、塀)が、国の登録有形文化財に登録され、これを証明するプレートが授与されました。小郡市では初の国登録文化財となります。

小郡官衙遺跡公園に展望台付トイレを設置 (5月1日号)



小郡官衙遺跡公園に展望台付トイレができました。小郡官衙遺跡は、今から1300年前の奈良時代の役所跡で、トイレも当時の建物に近いデザインとなっています。



西鉄小郡駅前に イルミネーションが点灯

(12月15日号)

小郡市賑わい創出イルミネーション実行委員会により、西鉄小郡駅前広場にイルミネーションが設置されました。

恋人の聖地に選定されたスポットの1つ「きらめきの塔」を華やかに装飾しているほか、ハート型のカメラモチーフなども設置されています。点灯は1月12日までです。



「三沢」の一部が「あすみ」へ

(9月15日号)



▲完成予定模型

西鉄三国が丘駅西側の筑後小郡簡保レクセンター跡地における住宅開発区域の町名が「あすみ」になりました。



絵本『新・七夕伝説』、 「オリリン」「ヒコリン」誕生

(11月1日号)

絵本『新・七夕伝説』とその絵本に登場する恋愛成就キャラクター「オリリン」と「ヒコリン」が誕生しました。オリリンとヒコリンは市の観光大使にも任命され、「恋、来い、おごおり」をキャッチフレーズに小郡市のPR活動を行っていきます。



小郡市長
平安 正知

新年明けましておめでとうございます。平成28年の輝かしい新春を迎え、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。また、平素より、市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

昨年の動きを見てみますと、10月にはT P P交渉が大筋合意に達し、多くの品目で関税の撤廃と税率の軽減が実施されることとなりました。本市におきましても、T P Pに対応しながら、基幹産業である農業の持続的な発展を目指してまいります。

また、人口急減・超高齢化という課題に対し、国においては地方創生が大きな柱として位置づけられております。本市におきましても地方創生の指針として「小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めるとともに、干潟地区に造成中の新たな工業団地や、三国が丘駅西側、あすてらす南側、三沢駅東側での宅地造成による定住人口の増加を踏まえた「地域人口ビジョン」を作成し、本市の活性化に取り組んでまいります。

そのような中で、市が継続して発展し、市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、第5次小郡市総合振興計画後期基本計画を策定し、「市民との協働によるまちづくり」の基本理念のもと、自主性・主体性を発揮しながら、諸課題の解決に取り組んでまいります。

どうか、今後とも、市民の皆さまをはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、今年が皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。